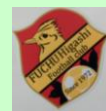


平成31年1月17日

風は東から

To be continued...



平成最後の大会は、レッズ、の優勝幕開け!!
東高は冬の鍛錬期第二弾がスタート!!

2019年 あけましておめでとうございます!!

F-Higashi Style で志高く、高い目標へ猪突猛進突き進みます!!



平成最後の天皇杯決勝戦は、スケジュールの変更のために、元旦の風物詩が昨年のクリスマスイブに行われ（拍子抜けした感がありますが）浦和レッズが12年ぶり七回目の優勝を飾りました。

また、「第97回全国高校サッカー選手権大会」では、東京都代表の二校が駒大高・国士館の二校が初戦敗退し、二年連続で初戦敗退という残念な結果に終わりました。関東の強豪校である、桐光学園、前橋育英も早々に敗れるという結果を受け、例年のことですが、サッカーの裾野が広がり普及し全国の格差が小さくなってきているのと同時に県外に魅力のある学校が増え、選手権のパンフレットを見ても大都市圏の強豪ジュニアユース選手の流出？が増加していると実感しています。果たして今年は、優勝候補の青森山田高校、流経大柏高校に尚志高校（福島）、瀬戸内高校（広島）という新興勢力が、どのように王者たちに挑み、満員に膨れ上がった埼玉スタジアムで闘うのか楽しみです（明日準決勝です）。

平成最後の選手権準決勝の大観衆の中で、お互いに持ち味を出し合い魅力的なサッカーで大いに沸かせてほしいと思います。



<今年の選手権は優勝候補 VS 新興勢力という楽しみな闘いが待っている>

全国区のチームは、ピッチ上だけではなく オフ・ザ・ピッチ も全国区 !!

選手権出場チーム（東京でも強豪校といわれているチーム）の子どもたちと接するといつも感じるのは、この時期常にメディアやマスコミに注目されているからかもしれませんが、挨拶や返事、受け答えなど立ち居振る舞いが本当に素晴らしいです。これは一朝一夕に習得できることではなく日常生活（学校生活）の中で培われてきたものだと思います。東高サッカー部も年々できるようになってきましたが、上には上がいます。意識を高く持って、更に高めていきたいと思っています。

2019 F-Higashi Style 進化論 に向け鍛錬期“第二弾”に突入!!

チームは、新年明けて5日から指導し、東京FID（知的障害者チーム）、藤沢清流高校、大成高校、杉並高校と既に五ゲームを行いました。この時期は、チームにある程度幅を持たせてメンバー構成をし、個々がどんなことができるようになったのかを探りながら闘っているのです、上手く機能せずにカウンターやミスで敗れることもあります、ゲーム内容はこちらの狙い通りに進んでいるので、更に東高スタイルが進化できるようにTRを継続していきます。

新学期早々のTRでは、子どもたちのメディカルサポートをいただいているDr 染谷氏によるコーディネイショントレーニングで、コーンドリル時に身体の動かし方の確認とチェックを受け新たな発見ができたことと思います。「BESTを望むのではなく BETTER でもいい」というスタンスで、できることをひとつひとつ積み上げて、掘り下げながら、一人一人がBESTに近づいていけるよう、今年も引き続き指導をいただいています。

毎年、ここから三月上旬の土浦市長杯までが、鍛錬期“第二弾”となります。一年間で一番走り、身体を鍛える期間です。この厳しい時を超えなければ、新シーズンの結果には繋がりません。まずは一人一人が覚悟と強い志を持ち、自分の三か月後の成長に繋がるために追い込んで欲しいと思います。この鍛錬期は全て「冬に泣いて、春にも泣いて、夏はもっと泣いて、秋に笑う!!」ために。



<今年も、Dr染谷氏の手には掛って子どもたちの身体は変わる!!>

<After the Game>

2019年がスタートしました。今年も一年間、東高サッカー部の活動に、ご理解とご協力、そしてサポートを宜しくお願いいたします。

12月末に、子どもたちには「府中東高校サッカー部 長期目的・目標設定シート」を子どもたちに書かせました。これは、自分たちが設定した「2019年の目的・目標達成に向けて」どのように生活していくのかを、短期・中期・長期に分けて記入しその内容について振り返れるようになっています。恐らく、子どもたちの机や部屋に貼ってあるはずです。どんな目標を今年立てているのか、是非、ご確認下さい。

さて、新シーズンに向けての厳しい鍛錬期が始まりました。「Tリーグ」二年目を迎え、今年こそは優勝してT3昇格を達成し、選手権では都大会ベスト8を目標に、より一層精進していきたいと思っています。前に進めば進むほど、上に登れば登るほど、今までに経験したことの無い困難や険しい道が待ち構えています。だからこそ、敢えて立ち向かい挑戦することに価値があります。今年も、子どもたちには謙虚さと感謝の気持ちを忘れず、F-Higashi Styleの進化にチャレンジできるよう、スタッフ一同一枚岩になって、子どもたちをサポートしていきます。